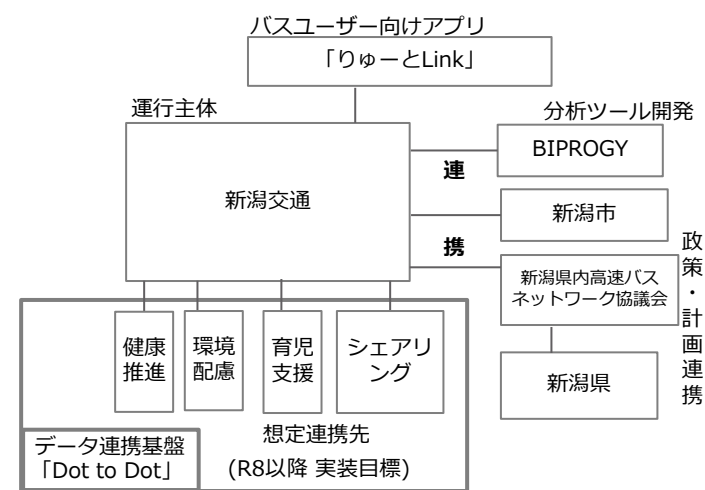


課題	- 新潟市は主要観光エリアが分散し、物理的な接続性が低く、観光客が効率的に回遊しづらい状況にある。これを克服すべく、路線バス、シェアサイクル及び県内高速バスの連携による企画立案とサービス認知向上が課題。 - また将来的に持続可能な交通網の策定に向け、各種連携により得られる行動データの分析結果を交通網再編や交通施策へ迅速に反映するための分析基盤の構築が急がれる。
プロジェクト概要	バスユーザー向けアプリ「りゅーとLink」データ(属性・行動)とバス乗降データを紐づけた顧客データのクロス集計の工程に、データ抽出・可視化作業を効率的に行う分析基盤(BIツール)を導入することで、アプリの効果を最大化し、以下の要素を可能とする。 [交通サービスの高度化(マルチモーダルかつシームレスな移動体験の提供)] - アプリ内の購入・決済でシームレスな移動体験が可能になる路線バスと県内高速バスのセット乗車券設定において、各種データのクロス分析により、ターゲットを明確にしてより利用者の需要に沿った企画乗車券の造成が可能。 [モビリティ・データの取得と活用] - ICカードで取得するバスの乗降データに加え、アプリ連携しているシェアサイクル利用データやアプリ内で決済・提供する県内高速バスとの企画乗車券等の購入データを取得・分析し、利用者の行動パターンや移動目的に合わせ運行ルート再考に活用。 - アプリを通じて各種エンドコンテンツとの連携も拡大させることで、利用者の属性やビヘイビアも集計する。モビリティデータと属性・ビヘイビアデータをクロス分析することによって顧客解像度の高いデータをストックし、そのデータを活用したい企業を顧客とした運賃外の新事業検討により、交通網維持の障壁である収益面も補う。 [地域交通政策等との連携] - 本申請書記載施策と新潟市地域公共交通計画ならびに新潟県内高速バスネットワーク計画とは密に連携済み。ICカードで取得した乗降データとアプリから取得する利用者情報を活用し、適正な運行ダイヤやバス停位置、路線再編検討に活用する。
効果	◇データ分析とその結果のアクションまでのタイムラグを短くすることで、キャンペーンの活性化と営業機会(連携企業開拓)の拡大⇒交通再編の参考となる利用データの集計増加 ◇マルチモーダル利用増⇒周遊・回遊性アップ⇒店舗誘客⇒機会創出・観光促進に寄与⇒消費金額向上 ◇データ利活用収益モデルの確立により運賃外の新収益を確保⇒交通網維持の原資獲得
事業の新規性	- 令和6年12月にローンチしたアプリ「りゅーとLink」(9月末現在 25,000DL)に管理機能を追加・拡充。キャンペーンの実施にともなう集計作業ならびに分析をスムーズに行うための分析基盤を構築する。 - 行動データ取得のための各種キャンペーンをより活性化するために、行動要素確認として既存他社アプリとの連携を行える連携プラットフォームの機能実装。

事業エリア/交通事業(予定)	事業エリア：新潟市 路線バス：新潟交通 高速バス：新潟県内高速バスネットワーク協議会 シェアサイクル：にいがたシェアバイク共同体
MaaSアプリ等	・スマホアプリ「りゅーとLink」
データの活用等	- データの取得方法：ICカードと車載システムから路線バス及び県内高速バスのODデータと利用者情報を取得。「りゅーとLink」アプリから連携サービスの利用情報を取得。 - データの活用方法：クロス分析し、バス路線再編の基礎データ及び利用者利便サービスの開発、地域企業における顧客理解深度化・運賃外新収益事業の開発に活用。
座組	
スケジュール	



11月中旬～12月	要件定義
12月～1月	システム開発
1月下旬～2月	実証
3月	効果測定
※スケジュールは今後精査	